

田園教室

～人・農・家の再生～



改装後 2階 1:100



提案要旨

近年、多くの若者達が心に闇を抱え過ごしている
いじめや虐待などで学校や家に自分の居場所が無い、障害を持っていて普通の学校生活にはついていけない、そんな悩みを抱えた人達の居場所によくフリースクールが挙げられる
しかし今までのフリースクールはビルの一角や駅前周辺など比較的自然とはかけ離れた場所にある事が多い
そのようなフリースクールで居場所は確保できても、本人達の心の闇を癒す事はできていないのだらうか

そこで私達は自然に囲まれたフリースクールを提案する

普通学校のクラスメイトや家の人とは関わりが無く狭い世界に閉じこもっていた人でも、縁に囲まれた学校で部活や地域の行事やりと関わる事で自分の世界を広げることができるのだらう

一方、ここ最近の農業では後継者や人手不足が問題視されている
フリースクールの生徒たちが周辺地域の農業を手伝うことによって農家の人たちの手助けになり、農業の良さを学び最終的に農業を目指す生徒が生まれる後継者育成の場にもなる
フリースクールと周辺住民がお互いこのような良き関係を結ぶ事で、自然に囲まれた場所でも都会より有意義な地域と呼べるのだらう



改装前 1:100



改装後 1階 1:100



周辺図

建築概要

私たちが提案するフリースクールは、通っている高校からほど近い福島県郡山市片平町に実在する、ある一軒の家をモデルとした。
片平町は郡山市街地から少し離れた場所に位置しており、多くの田畑が食物を産み出している。
周辺には高い建物もなく山々を見渡すことができ、自然豊かな町である。

私たちが設計する家には、もともと元教師の老夫婦が住んでおり、心を癒すフリースクールを作る長年の夢を叶えたという設定にした。
以前の古風な日本家屋の閑取りを生かしつつ、癒しを与えられるフリースクールとして生まれ変わった。
建物には両側の土間テラスを通り入る、建物に入ると玄関を兼ねた土間があり、連続とした土間とした。
また、土間テラスを多目的室ともつなげ、内部と外部が一体化した空間とした。このスペースで収穫祭などのイベントを通じ地域の方々との交流を図れることがこの家の特徴である。

多目的室と階間1の上は吹き抜けとし、2階の空間とのつながりと開放感を確保した。
2階は老夫婦のプライベートスペースとしたが、個室には一時的な理由により家に帰れない子供達が宿泊できるようにした。



配置図 1:800



改装前 断面図 1:100



改装後 断面図 1:100



改装前 立面図 1:100



改装後 立面図 1:100

